

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について(確定値)

(平成26年1月16日実施)

1 生息数及び構成比

単位:羽

種類	羽数	構成比:%	備考
ガン類	153,389	65.1	過去2番目
ハクチョウ類	21,039	8.9	過去最高
カモ類	61,265	26.0	過去5番目
計	235,693	100.0	過去3番目

2 前年同期との比較

単位:羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
平成26年1月16日	153,389	21,039	61,265	235,693
平成25年1月10日	150,090	14,305	51,488	215,883
増減	3,299	6,734	9,777	19,810

3 主な確認地

(1)ガン類

確認地	羽数	昨年の羽数
伊豆沼・内沼 (栗原市・登米市)	67,591 羽	64,206
蕪栗沼 (大崎市田尻)	53,901 羽	59,384
化女沼 (大崎市)	27,157 羽	21,559

(2)ハクチョウ類

確認地	羽数	昨年の羽数
伊豆沼・内沼 (栗原市・登米市)	5,038 羽	2,906
鹿島台 鶴田川合流点 (大崎市)	1,786 羽	943
鳴瀬川 (東松島市)	1,222 羽	870

(3)カモ類

確認地	羽数	昨年の羽数
旧北上川 (石巻市)	7,460 羽	2,200
伊豆沼・内沼 (栗原市・登米市)	6,988 羽	2,562
松島湾 (松島町)	4,333 羽	4,731

4 調査箇所数

県内のガン, ハクチョウ, カモ等の飛来地506か所

5 調査人員

県職員, 県自然保護員, 日本雁を保護する会及び蒲生を守る会の会員等 110人

6 その他

本調査の内容については, 宮城県自然保護課ホームページで確認できます。

(明日以降更新)

HPアドレス <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

7 飛来状況

○ 調査は昭和44年度から実施

○ 寒波の影響で北から南下してきており, 全体の飛来数は過去3番目となっている。特にハクチョウについては過去最高となるなど, 高い水準の飛来数を順当に保っている。